

平成30年度（第117回）
兵庫県大学図書館協議会総会議事要録（案）

日 時： 平成30年7月27日（金）午後1時30分～午後4時15分

場 所： 神戸芸術工科大学 本館3階A305大会議室

参加者： 30大学 39名

1. 開 会 当番館（神戸芸術工科大学 武藤 情報図書館サブ・マネージャー）の司会により開会
2. 当番館挨拶 神戸芸術工科大学 齊木崇人 学長、
花田佳明 情報図書館館長
3. 会長挨拶 神戸大学 萩原泰治 附属図書館長
4. 議長選出 神戸芸術工科大学 花田佳明 情報図書館館長を選出
議長補助として 神戸大学 北村 附属図書館事務部長を選出

5. 報告事項

- (1) 平成29年度事業報告について
会長館（神戸大学）から、配付資料に基づいて報告があった。
- (2) 大学図書館関係活動報告について
会長館から、各団体の活動が紹介されているホームページのURLを配付資料に掲載している
ので、直接参照してもらうよう説明があった。
- (3) 加盟館間の相互利用に関する提案とアンケート結果について
会長館から、配付資料に基づいてアンケートの実施経緯ならびにその結果についての報告があ
った。今回の提案についてはこのアンケート結果の報告をもって結論に代えさせていただくこ
ととし、拍手をもって承認された。

6. 協議事項

- (1) 平成29年度決算報告について
- (2) 平成29年度会計監査報告について
会計担当館（関西学院大学）から決算報告について、配付資料に基づいて説明があった。引き
続き監事館（武庫川女子大学）から会計監査結果について、適切に執行されている旨報告があ
り、原案どおり承認された。
- (3) 平成30年度事業計画（案）について
研修事業担当館（関西学院大学）から、配付資料に基づいて研修会と施設見学会の提案があり、
原案どおり承認された。また企画委員会（代表：神戸大学）から、配付資料に基づいてその他
の事業計画について説明があった。
- (4) 平成30年度予算（案）について
会計担当館から、配付資料に基づいて説明があり、原案どおり承認された。
- (5) 2019（平成31）年度（第118回）総会当番館について
企画委員会から、園田学園女子大学を候補館とする企画委員会提案が示され、承認された。開
催は今年度同様7月最終週で考えている。
- (6) 2021（平成33）年度以降の企画委員館選出方法の見直しに伴う

「兵庫県大学図書館協議会規約」申し合わせの変更について

会長館から、配付資料に基づいて提案の説明があった。平成30～32年度までの企画委員館については昨年度総会で既に決定しており、その後の選出方法について見直しを検討し、

「大学の種別に関わらず、全館から3館選び、3年任期とする」こと、それにあわせて規約の申し合わせ2.を変更することを事前に提案したものであった。総会当日欠席の館にはあらかじめ「総会出欠票」にて承認の可否・意見の提出を依頼し、欠席大学12館すべて「承認」（意見なし）であった。事前提案の内容について、関西福祉大学より修正提案の発言があり、「継続協議」の希望が出された。また産業技術短期大学からも選出方法についての意見が出された。これらの意見を踏まえて会長館から「継続協議」の提案を行い、拍手をもって承認された。なお、「継続協議」の場合でも、今後1年以内に決定し、遅くとも次年度の総会にて承認の予定である。「継続協議」の詳細については後日事務局より改めてメールにて連絡予定である。

7. 承合事項

承合事項について、総会資料の冊子とは別に「承合事項」の冊子が配付されている旨、議長より説明があった。

事前に照会していた承合事項は以下の3点である。

- 1) 特色ある選書について
- 2) 図書館システム（機関リポジトリ・デジタルアーカイブ等を含む）について
- 3) 卒業生・一般市民等に対する取り組みについて

回答内容について、はじめに会長館から概要の説明があり、次いで質疑応答と事例報告が行われた。

(1) 特色ある選書について

- ・ 大学生協書籍部と連携した学生希望図書受付サービス「このとり」について、甲南大学から事例の報告があった。
- ・ 電子投票による新刊書の選書について、宝塚大学から事例の報告があった。

(2) 図書館システム（機関リポジトリ・デジタルアーカイブ等を含む）について

- ・ 図書館システム担当の有無、運用・管理体制について、神戸大学からシステム担当者がある場合について事例の報告があった。
- ・ クラウド使用の有無について会場に挙手アンケートを実施し、クラウド使用のメリット・デメリットについて大手前大学・大手前短期大学から事例の報告があった。
- ・ 図書館システムリプレースの頻度について会場に挙手アンケートを実施した。リース更新にあわせてのリプレースが最も多く、会場の大半を占めた。
- ・ 遡及登録した場合の紙媒体の原簿の取扱いについて、会場に挙手アンケートを実施した。ほとんどの館が原簿については継続して保管していた。一方、図書目録カードについては遡及目録が終わった時点で廃棄している館が多かった。
- ・ 電子書籍貸出について、導入している武庫川女子大学、関西国際大学から事例の紹介があった。

(3) 卒業生・一般市民等に対する取り組みについて

- ・ 一般市民等への開放について、神戸学院大学から事例の報告があった。

以上